

国際儀礼の基本講座 ～その5～

平成22年5月
地方連携推進室 杉田明子

Q 座席割りやスピーチ順などの順番を決める際、序列の根拠となる基準はあるのでしょうか？

A 【ワンポイント・アドバイス】

序列の基準は、行事の性格や出席者によって異なります。代表的な考え方の一つは、国や都市などの組織名のアルファベット順に基づく方法です。また、参加者のランクに基づいて序列付けを行う方法もあります。

【解説】

1. 組織名のアルファベット順

国連（注）をはじめとする多くの国際会議では、座席順を決める際に国や組織のアルファベット順に基づいて座席割りが決められています。このような方法を採用することにより、参加する国や組織の優劣や大小などに左右されず、すべての出席者が中立的・客観的な規則性に従って並べられる、との公平性を確保することができます。

なお、国名のアルファベット順については、国連の加盟国リストで確認することをお勧めします。（詳しくは国連のホームページを参照：<http://www.un.org/en/members/index.shtml>）たとえば、韓国はKoreaなのでKの下にグループ分けされると思われがちですが、実は Republic of Korea の R をとって、Rの下にグループ分けされています。

（注）国連総会議場では、毎年総会が始まる前に加盟国によるくじ引きで、その年の序列第一位となる国を抽出し、その国を起点とするアルファベット順で座席割を作成しています。そのため、総会議場における日本代表の席も毎年変わります。

2. 出席者のランク順

多くの国家行事では、出席者のランク（肩書き）による座席割りが採用されています。たとえば、我が国で1990年に開催された天皇陛下の即位の礼の「即位礼正殿の儀」では、158カ国と2国際機関の代表が参加しました。こ

これらの参加者の座席割を考えるにあたり、まず参加者全員を、「国家元首級（国王、大統領）」、「皇太子・王族」、「副大統領級」、「首相級」、「閣僚級」などにグループ分けし、同一グループの中では就任順（王族については、皇位継承順、年齢順を考慮）に基づいて序列付けしました。

なお、同一任国における大使の序列は、「信任状捧呈順」という基準が確立しています。たとえば、東京にいる外国大使の序列は、各国大使が着任後、天皇陛下に信任状を捧呈した日付順にその序列が決められており、これらは大使間の序列に厳格に採用されています。

3. その他の留意点

食事の席では、まず上記のような考え方に基づいて序列付けを行った上で、少し味付けをすることがあります。その際、次のような観点からほかに配慮すべき点があるかどうかを考えることが求められます。

まず、第一に、性別（男女が交互に座ることが最も理想的ですが、必ずしも同数とは限りませんので、なるべく同性同士が固まらないようにします）。

第二に、語学力（外国語に堪能な人が、1カ国語しか話せない人の隣に座って、潤滑油の働きをするように配慮します）。

第三に、友好関係か非友好関係か（あまり仲の良くない者同士を隣り合わせにしないように配慮します。これは食事のみに限らず、会議や行事でも非友好国どうしを隣り合わせにしないような配慮が求められることがあります）。